

支援事例

商工会名	玉名市 商工会	氏名	三川義彦	情報開示の可否	可
支援テーマ	事業承継	題名	農業土木、庭造りサービスによる新分野展開と社会課題の解決		
	販路拡大・販路支援				
	資金繰り				

<支援企業の概要>

事業所名	玉水建設	従業員	5 人	創業/ 会社設立	創業日	2021年12月1日
業種	土木工事業	うち家族従業員	2 人		業歴	3年3ヶ月

○企業概要
玉水建設は、土木工事業として昭和46年に祖父が創業し、現在3代目になる。主に玉名市の公共工事（道路・排水路）及び個人住宅の造成、外壁工事などの民間需要である。公共工事80%民間工事20% 熊本地震や豪雨被害の復旧工事により、ここ数年間は公共工事の受注が多かったが、今後は先細る見込みであり、民間工事の受注増加が課題である。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題
事業承継して、2年目が経過したところで、2代目父が使用していた事務所の老朽化しており、建替を検討していたところ「事業承継引継ぎ補助金」を活用できないかと相談があった。 補助金を活用するには、事務所の建替えは対象になるが、新たな取り組みを組み込まなくてはならないため事業計画の策定支援に事業者と共に検討し取り組んだ。
【支援課題・支援計画】
（支援課題）事業承継引継ぎ補助金を活用するには、新たな取り組みが必要 （支援計画）新事務所の必要性を盛り込んだ補助金事業計画書の作成と実現性の可否 （現状分析） ・強み 当社がこれまで培ってきた土木工事の技術力と信頼性 ・弱み 従業員の高齢化、数年後の従業員の確保と技術力 ・機会 近隣住民の高齢化による農業従事者の作業効率能力の減少

○支援内容および支援後の状況・効果
事業承継補助金申請のための事業計画内容の作成支援 ・農業土木及び個人宅の庭造りの提案を行い、地域の農業者（みかん、トマト、いちご生産者）、高齢者宅等を対象にした事業に取り組み新たな需要拡大と新規顧客の開拓を行う取り組み内容として、①農業土木サービス、②個人宅の庭造りサービスを行うこととした。特に、「新事務所の必要性」を盛り込むことに苦慮した。 ・補助金申請前に、県連の専門家派遣事業を活用して、ブラッシュアップをおこなった。 （進捗・成果） 事業承継・引継ぎ補助金は採択を受けることができ、事業計画通り実行できた。手続き等は、Jグランツ上で行うため、事業者には、商工会にパソコンを持ち込んでもらい、遂行状況報告、事業報告等の申請操作支援を実施した。

○今後について（目標や課題など）
新事務所を活用して、新サービスでの収益増加につなげてもらうように今後も、専門家派遣等を活用しながら支援を行っていく。